

# 令和6年度定期予防接種一覧

令和6年4月1日現在

予防接種名		対象年齢	標準的な接種年齢	接種回数	
ロタ ※1	ロタリックス® (1価)	生後6週から24週	1回目は生後14週6日まで に行う。	計2回	
	ロタテック® (5価)	生後6週から32週		計3回	
※1 ロタウイルスワクチンは、2種類あります。同一の製剤での接種を完了することが原則です。					
ヒブ		生後2か月以上5歳未満	生後2か月から6か月の間 で接種を開始	生後2か月以上7か月未 満で開始	計4回(初回:3回 追加:1回)
				生後7か月以上1歳未 満で開始	計3回(初回:2回 追加:1回)
				1歳以上5歳未満で開始	計1回
小児用肺炎球菌		2か月以上5歳未満	初回の開始は生後2か月 以上7か月未満	生後2か月以上7か月未 満で開始	計4回(初回:3回 追加:1回)
				生後7か月以上1歳未 満で開始	計3回(初回:2回 追加:1回)
				1歳以上2歳未満で開始	計2回
				2歳以上5歳未満で開始	計1回
B型肝炎		1歳未満	生後2か月以上9か月未満	計3回	
五種混合 ※2 ・百日咳 ・ジフテリア ・破傷風 ・不活化ポリオ ・ヒブ	生後2か月以上7歳6か 月未満	生後2か月以上1歳未満	1期初回 3回	計4回	
		初回3回終了後、12か月 以上18か月未満	1期追加 1回		
※2 これまでに、四種混合やヒブを接種した方は、原則として、同じ種類のワクチンで接種することをお勧めします。					
BCG	1歳未満	生後5か月以上8か月未満	計1回		
MR ・麻しん ・風しん	1歳以上2歳未満			1期 1回	計2回
	5歳以上7歳未満(就学前1年間)			2期 1回	
水痘 ※水痘にかかった人は対象外	1歳以上3歳未満	1歳以上1歳3か月未満	1回目 1回	計2回	
		1回目の接種後 6か月以上12か月未満	2回目 1回		
日本脳炎 ※3	生後6か月以上7歳6か 月未満	3歳	1期初回 2回	計4回	
		4歳	1期追加 1回		
	9歳以上13歳未満	9歳	2期 1回		
※3 日本脳炎特例対象者 平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれ・・・20歳未満までの間に計4回。(※4回目は9歳以上で接種。)					
二種混合 ・ジフテリア ・破傷風	11歳以上13歳未満	11歳	計1回		
ヒトパピロー マウイルス 感染症(HPV) ※4	サーバリックス (2価)	小学6年生～高校1年生 相当	中学1年生	計3回	
	ガーダシル (4価)				
	シルガード (9価)			1回目の接種を 15歳までに受ける場合	計2回
				1回目の接種を 15歳になってから受け る場合	計3回
※4 HPVワクチンは、サーバリックス(2価)とガーダシル(4価)、シルガード(9価)の3種類があります。 令和5年4月から、9価のワクチン(シルガード)を公費で接種できるようになりました。 これまでに、サーバリックス(2価)やガーダシル(4価)を1回または2回接種した方は、 原則として、同じ種類のワクチンで接種することをお勧めします。					
<p>&lt; HPVワクチン特例: キャッチアップ対象者 &gt; 平成9年度生まれ～平成19年度生まれまでの女子 令和7年3月31日まで定期接種が可能。キャッチアップ接種の最終年度。</p>					
<p>【予防接種の接種間隔】 注射生ワクチンを接種する場合は、27日以上あける制限は維持しつつ、他のワクチンの 組み合わせについては、制限を設けないことになりました。 ※注射生ワクチン…BCG、MR(麻しん風しん混合)、水痘、おたふく等 ※同一ワクチンを接種する場合は、ワクチンの種類により接種間隔が異なります。</p>					
<p>【対象年齢】 定期接種として法律で定められた接種期間です。 年齢の考え方・・・誕生日の前日に1歳年をとると考えます。「〇〇未満」→ 期間: 誕生日の前日まで</p>					
<p>【標準的な接種年齢】 対象年齢のうち、その病気にかかりやすい年齢を考えて接種をすすめる期間です。</p>					